



団体概要

団体名	一般社団法人 大阪青年会議所
創立年月日	1950(昭和25)年3月25日
社団法人格取得年月日	1955(昭和30)年1月17日
一般社団法人移行年月日	2014(平成26)年1月6日
事務局所在地	〒552-0007 大阪市港区弁天1-2-30 オーク4番街401号室
連絡先	TEL:06-6575-5161 FAX:06-6575-5163
正会員数	1,005名(2018年10月31日現在)
OB 会員数	2,851名(2018年12月31日現在)
事業年度	1月1日～12月31日
URL	http://www.osaka-jc.or.jp



POLICY BOOK 2018 REPORT

一般社団法人 大阪青年会議所

BREAK THROUGH OSAKA

BREAK THROUGH OSAKA

～ 270万人の熱狂が世界を変える 大阪を次のステージへ ～

平素より、一般社団法人大阪青年会議所の活動に対し、行政、企業、教育機関、団体、市民の皆様にご理解、ご協力を賜り心より感謝を申し上げます。

本年度は、BREAK THROUGH OSAKAをテーマに、日本再生を牽引する民間主導の経済成長の実現、子どもの生きる力を育む生涯活躍社会の実現、人類に真の進歩と調和をもたらす突き抜けた人材の育成という3つの大きな政策を掲げ活動をして参りました。

24区1,000名を超える輿論を集めた「経済成長ビジョン」の提言や、素直な心と逞しい身体を育む青少年育成事業、世界で活躍する人材を育成するSDGsを軸とした国内外でのプログラムなど、大阪、日本、世界を舞台に事業を実施させて頂きました。

2019年にはラグビーワールドカップ、国内初となるG20国際サミットが開催され、2025年国際博覧会の開催地が大阪に決定するなど、これまで以上に大阪は世界から注目されることになります。

2020年には、大阪青年会議所も70周年という節目を迎える中、日本だけでなく、世界の未来を明るく照らす国際都市大阪の実現に向けて、これからも活動を展開して参ります。

本年度の活動に対して多くのご支援頂きました皆様に心よりの感謝を申し上げますと共に、2019年度の大阪青年会議所への本年度以上のご理解とご協力をお願い致します。

270万人の熱狂が世界を変える
BREAK THROUGH OSAKAから次のステージへ！

一般社団法人 大阪青年会議所
2018年度 第68代理事長

竹田 哲之助

大阪万博開催決定！

あの熱狂が・・・再び大阪に！

本年度、大阪青年会議所では、日本万国博覧会の誘致を推進するべく、大阪府民の皆様からの多くの賛同をいただき、54,049筆の署名を集める事が出来ました。

11月5日(月)に大阪府庁を訪問し、副理事長 吉井雅俊君より新井純 副知事に54,049筆の署名を提出しました。

新井副知事からは、感謝のお言葉を頂くとともに、大阪で開催が決定した後においても、開催までの準備が重要であり、「中小企業の経営者が多く在籍している大阪青年会議所のような青年経済人の力が必要です!」と、共に大阪の発展のために連携協力していこうというお言葉を頂きました。

国際博覧会の開催立候補国は日本・ロシア・アゼルバイジャンの3国であり、11月23日(金)BIE総会で、開催地が日本の関西・大阪に決定いたしました。

我々が集めた、54,049筆の市民の想いを世界に届けることができました。



2018 大阪青年会議所 万博誘致活動のあゆみ

1 タウンミーティング

大阪市内全24区で計30回の
タウンミーティングを実施。



2 EXPO NIGHTの開催

万博誘致をテーマにした
フォーラムを開催しました。



3 署名活動・提出

11月5日(月)に大阪府庁を訪問し、新井純
副知事に54,049筆の署名を提出しました。



日本再生を牽引する 民間主導の 経済成長の実現

成長戦略の成果により一筋の光が見えている現在、デフレーションから完全に脱却し、アジアの中核都市として存在感を発揮する好機を迎えています。この絶好の機会を活かし、正しい知識にもとづいた市民輿論を確立し、誰もが豊かさを享受できる経済の実現を目指し活動を行いました。



1,356

BREAK THROUGH CAFE
合計参加者数

大阪市内全24区で30回開催。メディアリテラシーについて自ら考える機会を作り、今住んでいるまちに何が必要か、タウンミーティングを開催しました。



205

BREAK THROUGH
COMPANY 開催回数

持続的に企業が発展を遂げるため、
会社に関わる全ての人々の幸せを考えた
公益資本主義のプログラムを会社に訪問し、実施しました。



54,049

日本万国博覧会
誘致署名を集めた数

万博誘致の呼び水となった日本全体での
自筆署名数合計40万筆のうち、
12.5%を大阪青年会議所が集めました。

1

政策提言の
提出

3

3本の政策による
経済成長ビジョンの実現

24

大阪市24区の
声を集めた

約20年続くデフレーションから脱却するために、
大阪青年会議所では、3つの政策の柱を元にした
経済成長ビジョンを策定し、吉村大阪市長へ政策提言を行いました。

機真夏氏(左:2025年日本万国博覧会誘致委員会事務局・事務総長)と
村松亮太郎氏(右:NAKED Inc.代表) EXPO Nightにて



原文人氏(左:DEFTA PARTNERSグループ 会長)と
山田邦雄氏(中央:ロート製薬 代表取締役 会長 兼 社長)
Future Society Nightにて



5

フォーラム開催

3,570

全参加人数

万博誘致が、どのように社業、個人の持続的発展・成長につながるのかや、
大阪府が取り組む先端医療都市やAIやVRなどの最先端技術を活用した
医療・健康を発信したイベントをEXPO NightやFuture Society Nightと題して実施しました。

子どもの生きる力を 育む生涯活躍 社会の実現

新技術の発達で社会が変化し、多くの子どもや若者が将来に不安を感じている現在、すべての大人が生涯に渡り成長を続け活躍し、圧倒的な期待感を与えなければなりません。だからこそ、遅い身体と素直な心を兼ね備えた、生きる力をもった子どもを育む環境を構築し、誰もが生涯を通じて成長し活躍できる社会の実現を目指し活動を行いました。



100,000

大阪城トライアスロンに 関わった全ての人数

遅い体を作るためにボランティアの方々と共に
実行委員も務める大阪青年会議所メンバーが
大阪城で開催されたトライアスロンに参加しました。



4

未来投資教室 実施数

4つの学校に訪問し、
素直な心を育むための誰もが推進できる
教育プログラムを提供しました。



107

キッズダンスコンテスト 参加者数

キッズダンスコンテストを通して、生きる力をもった
子どもを育み、誰もが生涯を通じて成長し活躍できる社会を
実現する未来への投資を実践することができました。

1,009

わんぱく相撲
参加者

2

TVでの特集

関西テレビ放送「報道ランナー」にて、
「小さな力士のドラマ」と約4分間特集される。

3,250

わんぱく相撲
来場者

5月3日に開催されたわんぱく相撲大阪大会では情熱大陸
などの情報番組にも取り上げられる大盛況。会場内では
子供たちが障がい者スポーツ(ボッチャ)にも触れ合いました。



22

協賛企業

115

BREAK THROUGH THE
BORDER 参加人数

7

支援団体

2019年ラグビーワールドカップの開催を控える中、
5人制のラグビーを実施することで、興味を持ってもらい、
楽しさや奥深さ、誰にも負けない努力の大切さを伝えることができました。

人類に真の進歩と 調和をもたらす 突き抜けた人材の育成

行き過ぎたグローバリズムにより様々な問題が生じ、すべての人びとが幸福を追求することが困難になっています。今こそ、自国の歴史や文化に誇りを抱き、既知と既知の融合から次なる革新を生み出し、人類に真の進歩と調和をもたらす突き抜けた人材を育成し、誰もが幸福を追求できる世界の実現を目指し活動を行いました。



33

大阪変革塾
入塾者人数

田坂先生を塾頭にお迎えして、4ヶ月のプログラムを通じて、
各界で活躍されている多彩な講師陣の授業や、
ディスカッション、プラン発表などを実施しました。



37

1981年からの
TOYP開催回数

5

2018年に招聘した
TOYPメンバー数

245

今まで招聘した
TOYPメンバー数

TOYP事業(TOYP=The Outstanding Young Person)はさまざまな分野で前途ある傑出した若者たちを
日本に招聘して、民間外交や国際交流を行い、互いに学び合い、意識を高め合うことを目的としています。
今年は国連が選定する2017年度ヤングリーダーズ17名の中から5名を招聘しました。



20

協賛・協力
企業数

15,000

BREAK THROUGH OSAKA
2018 EXPO 来場者数

60

参加店舗数

プレ万博と称して、BREAK THROUGH OSAKA 2018 EXPOを9/8、9/9の2日間、
大阪のミライを創る・学ぶ・体感するをテーマに
大阪うめきた第二地区、ナレッジシアター、ホテルモントレ大阪で開催しました。

10,000

PCYのFbページ
いいね!数

4

VC(ヴァーチャル
カンファレンス)実施国数



294

今まで参加した
PCY Fellow

PCYとは、“世界平和の実現”に向けて、積極的に行動できる未来のリーダーを育てるプログラム。
8回目の今年はエストニアへの視察を行い、SDGsの17ターゲットから、Goal 3の保健医療分野の提言を
海外の留学生を含む大学生が3チームに分かれて作成を行いました。





橋爪 紳也 氏

大阪府立大学研究推進機構特別教授／大阪府立大学観光産業戦略研究所所長／大阪府特別顧問／大阪市特別顧問／大阪青年会議所顧問

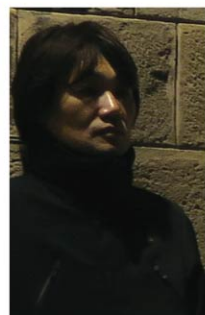
2025年国際博覧会の大阪誘致に成功しました。大阪青年会議所も、おおいに貢献したと思います。私たちは2025年に向けて、誘致から準備の段階に移行しなければいけません。2019年には、開催主体となる新たな組織が立ち上がり、実施に向けた計画の立案が始まります。会場となる夢洲の埋め立てやアクセスなどのインフラ整備も動き始めます。また、来るべき国際博覧会を、新たな企業活動や、さまざまな分野での若い才能が芽吹く好機と捉え、各領域でのインキュベーションを拡充するべきでしょう。優れた国際感覚を有したグローバル人材こそ、来るべき国際博覧会が、次世代の日本に残す優れたレガシーです。大阪は国際博覧会に向けて動き出します。大阪青年会議所も、未来を見据えて、さらなる活動を展開する時期を迎えています。



藤井 聡 氏

京都大学大学院工学研究科教授／京都大学地域連携教育研究推進ユニット教授／一般社団法人大阪青年会議所アドバイザー

大阪万博が決定しました。これは大きなチャンスです。このチャンスを十分に活かすためにも、そのイベントを、単なる一過性のイベントで終わらせることなく、地に足を付け、万博「後」をしっかりと思えた議論と実践が今、強く求められていることができるでしょう。かつての70年万博の前後の契機に、今の大阪を支えている御堂筋線や中央環状線が整備されたように、この万博「前後」の機会を通して大阪市内の「真に必要な」鉄道路線やリニア新幹線を名古屋・東京間よりも「早く」大阪名古屋間で整備することを決定する等も重要な機会となるでしょう。そうした議論と実践を加速する上で、大阪青年会議所は重大な役割を担い得る存在です。かつてのような輝かしい大阪の活力を、「かつて以上」に花開かせるための大阪青年会議所のこれからの活躍を、大いに期待しています。



大川 幸秀 氏

アートディレクター・デザイナー／有限会社 Graphic Machine Explosion／『バッタを倒しにアフリカへ（光文社新書）』カバーデザイン制作／「BREAK THROUGH OSAKA」ロゴデザイン制作

2017年6月、2025日本万国博覧会誘致ロゴに選んで頂きました。コンセプトは、子どもや世界各国の方々にも伝わる表現として、日本発祥の「絵文字」をモチーフに制作を致しました。「いのち輝く未来社会のデザイン」というテーマに添い、その未来を担う子ども達にもわかりやすく、親しんでもらえるようにという思いを込めています。1年半が経ち、大阪での開催が決定した今、少しでも力になれたことを大変嬉しく思っております。そして、大阪青年会議所の2018年度スローガンロゴの制作に携わり、突き抜ける上昇感を矢印で表現させて頂きました。2020年東京オリンピック、2025年万国博覧会と世界的なイベントに向けて、大阪青年会議所のメンバーの皆様が中心となり、成功へ向かって上昇していくことを期待しております。

平素より大阪市政へのご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。

本年に於きましては、万国博覧会大阪・関西の誘致に向けて

「経済成長ビジョンの公開提言」を提出いただき、

また署名活動では54,049筆という本当に大きな

お力添えをいただきましたこと、重ねて感謝申し上げます。

このお力添えが、万国博覧会誘致決定に多大な

貢献を果たされたということを確認しています。

皆様方の積極的な活動が大阪の成長に大きく

影響をしていることは言うまでもないことではありますので、

今後とも大阪の成長の為に、変わらぬご活動、

ご尽力賜りますよう、よろしくお願いいたします。

最後になりましたが、貴会議所の今後ますますの

ご発展を心よりお祈り申し上げます。

平成30年12月吉日

大阪市長 吉村 洋文 氏



2018年 活動レポート

1

- 5 | 新年名刺交換会
- 13 | 1月度月例会
池田会議
- 19-21 | 京都會議



2

- 1 | 会員拡充事業(事業説明会など全16回)
- 21 | BREAK THROUGH FORUM Vol.1



3

- 18 | 3月度月例会

4

- 5 | 吉村大阪市長との意見交換
- 7-8 | 入会式・新人セミナー
- 8 | センシア巻頭対談(落合陽一)
- 10 | OSAKA BREAK THROUGH CAFE
(大阪市内24区・全30回開催)
- 25 | BREAK THROUGH FORUM Vol.2
- 28 | 大阪変革塾・PCY開校式

5

- 3 | 第37回大阪市長杯大阪市大会わんぱく相撲
- 19 | 整肢学院児童レクリエーション事業
- 21 | BREAK THROUGH COMPANY(205社で開催)
- 24-26 | ASPAC鹿児島大会



6

- 1 | 6月度入会式
- 10 | 大阪城トライアスロン
- 19 | BREAK THROUGH FORUM Vol.3

7

- 6 | センシア巻頭対談(桂文枝)
- 14 | 近畿地区大会葛城大会
- 20-22 | サマーコンファレンス2018
- 27 | BREAK THROUGH FORUM Vol.4
- 31 | PCY海外プログラム(エストニア訪問)

8

- 4 | 第30回なにわ淀川花火大会
- 7 | OB現役交歓会

9

- 2 | BREAK THROUGH THE BORDER
- 8-9 | BREAK THROUGH OSAKA 2018 EXPO
- 16-21 | 第37回TOYP事業
- 21 | 9月度月例会
- 26 | 大阪ブロック大会松原大会

10

- 4-7 | 全国大会宮崎大会
- 11 | 10月度月例会
- 30 | 世界会議インドゴア大会



11

- 3 | JCI Toompea, JCI Ouaga Golden, JCI Ekoとのシスター締結
- 5 | 2025年国際博覧会招致署名54,409筆の署名を大阪府へ提出
- 13 | BREAK THROUGH FORUM Vol.5

12

- 4 | 会員大会



BREAK THROUGH FORUMは公開月例会となります

2018年度 事業へご協力いただいた企業・団体の皆様

協力企業

明治安田生命保険相互会社 梅田営業所
 株式会社グルーヴ
 アイザワ証券
 日本赤十字社大阪府支部 総務課
 大阪ガス株式会社 地域共創部門 近畿圏部 地域活力創造チーム
 森永乳業株式会社 西日本支社 大阪支店 食品流通営業課
 森永製菓株式会社 大阪支店
 サラヤ株式会社コンシューマ事業本部
 がんこフードサービス株式会社
 サントリーホールディングス株式会社
 株式会社ジーンクエスト
 会宝産業株式会社
 たねやグループ
 ロート製薬株式会社
 積水ハウス株式会社 CSR部
 コーナン商事株式会社
 株式会社プライマルヴェニュー
 株式会社エコリング
 東洋メディアサービス株式会社
 株式会社橋本商会
 株式会社スタンダース
 阪神プロパティーズ株式会社
 ケイミュー株式会社
 有限会社五感
 ヒューマンプランニング株式会社
 株式会社シティライフ
 株式会社嘯風
 株式会社9view
 シルクロードカム株式会社
 株式会社USD
 株式会社京丹波

協力団体

human note
 NTTドコモレッドハリケーンズ
 SAVE THE CHILDREN
 特定非営利活動法人 国境なき医師団日本
 ピンクリボンフェスティバル
 大阪商工会議所
 大阪イノベーションハブ
 産業創造会館
 船場経済クラブ
 天王寺区民センター
 東住吉区民ホール
 淀川区民センター
 阿倍野区民センター
 西成区民センター
 大阪イングリッシュハウス
 同志社大学瓜生原研究室
 大阪大学
 流通科学大学
 JAPAN INNOVATION NETWORK
 追手門学院大学 経営学部経営学科
 芦屋大学
 一般社団法人籠究塾
 関西大学
 武庫川女子大学
 一般財団法人大阪バスケットボール協会
 一般財団法人大吉財団
 紙こよりの会
 スタジオオドリ場
 ランヴェーストライアスロンスクール ビックエス鶴見校
 大阪市立生江小学校
 大阪市立瓜破西小学校
 大阪市立西中島小学校
 西日本ハンバーガー協会